

協漁毛両  
**梅田湖ワカサギ釣り大会 81人が釣果競う**  
**豪華賞品で盛り上がる**

両毛漁業協同組合(中島淳志組合長)主催の第2回ワカサギ釣り大会が8日、桐生市梅田町四、五丁目の梅田湖で開かれた。雨にもかかわらず、市内外の子どもから大人まで81人が参加して盛り上がった。

県内屈指のワカサギ釣りの名所となった同湖の魅力を発信しようと、同漁協が昨年到现在開いた大会。釣り具メーカーなど37社が協賛し、最高2万5000円相当の商品をはじめ、参加者全員が景品をもらえる豪華さで、「一漁協が主催する釣り大会としては最大規模」(ダイワ関係者)となっている。

参加者は午前7時から続々とボートで湖面に散り、正午までの釣果を競った。雨で難しいコンディションの中、201匹を釣った千島克也さん(40) 。

優勝して豪華賞品をもらう千島さん(右から3人目)



優勝して豪華賞品をもらう千島さん(右から3人目)

埼玉県本庄市が優勝。2位は179匹の中村道行さん(39) 東京都青梅市、3位は143匹の篠崎泰幸さん(47) 栃木県佐野市だった。

大会後、豚汁で体を温めた参加者は、豪華賞品が当たる抽選会やジャンケン大会で盛り上がった。中島組合長(43)は「雨にもかかわらずキャンセルが少なく、参加者のマナーがいい大会だと協賛

メーカーが驚いていた。梅田湖の釣りが活性化することで桐生の観光振興になり、県内全体のワカサギ釣りの活性化にもつながれば」と話す。

平成27年11月8日(日)開催  
**「第2回梅田湖ワカサギ釣り大会」**  
 桐生タイムス  
 平成27年11月10日掲載